

指定管理施設事業評価票(令和3年度分)

1. 施設所管課 観光経済 部 農林 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市日光ブランド情報発信センター		
	所在地	日光市瀬川844		
指定管理者	名称	DAK共同企業体		
	代表者名	株式会社大日光・エンジニアリング 代表取締役 山口侑男		
	住所	日光市瀬尾33-5		
指定期間		平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5 年間
選定方法		公募	評価実施年	5 年間のうち 4 年目
施設設置目的		市内における特産品等及び地場産業の振興に資するとともに、農林水産業、観光業及び商工業の連携強化による情報発信を推進し、日光ブランドの開発を目指した拠点となることを目的に設置。		
主な実施事業		○特産品・農林水産物等の情報発信及び販売 ○日光らしい農林水産物・特産品の消費拡大 ○市内観光に関する情報収集・情報発信業務		

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
a	利用者数	千人	230	129	200	132	200	138	200	140		
b	利用者の満足率	%	70	73	72	73	70	73	75	70		
c	コスト削減率	%	100	107	100	77	100	92	100	99		
d	事業収入	千円	213,920	164,475	198,013	164,795	176,772	177,322	191,000	197,742		
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位:円)

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入計 A		37,617,806	31,974,105	36,740,851	39,976,729	
指定管理料	指定管理料	0	0	510,000	0	
	利用料収入 C	20,432,797	20,034,371	23,940,346	26,790,356	
	自主事業収入	17,099,429	10,199,848	370,757	432,457	
	その他	85,580	1,739,886	11,919,748	12,753,916	
支出計 B		58,410,961	35,614,532	31,692,656	33,715,578	
指定事業費	指定事業費	55,348,347	35,232,958	31,675,177	32,381,044	
	内人件費 D	27,370,931	19,218,053	15,006,250	14,948,001	
	内外部委託費 E	624,880	744,000	750,735	801,090	
	自主事業費	3,062,614	381,574	17,479	1,334,534	
事業収支 A-B		-20,793,155	-3,640,427	5,048,195	6,261,151	
人件費率 D/B		46.86%	53.96%	47.35%	44.34%	
外部委託比率 E/B		1.07%	2.09%	2.37%	2.38%	
※着色セルは、自動計算としている。						
補足説明	・人件費削減や廃棄野菜の施設提供によりゴミの大幅削減、日々の情報発信による集客向上により今年度も収支実績を伸ばすことができました。					

サービス改善の状況

・コロナ禍でも効果的に日光PR・情報発信ができるようにSNS等をしっかり活用し、尚且つ魅力的な内容を発信するよう努めました。
・毎月、おすすめの日光産農産物をPRするため定期的にイベントを開催して日光の魅力を伝えました。
・店内の日光産農産物をより魅力的に発信できるように展示方法を工夫したり、利用者に興味を持ってもらえるよう楽しいチラシの配布を行いました。
・日光農産物の自給率UPの為、生産者へ利用者の要望や店で足りない野菜などの情報を定期的に発信し作付などに利用してもらえるような取組みを始めました。
・食品ロス問題の改善や、生産者の思いが詰まった野菜をなるべく無駄にしないよう廃棄野菜の施設無償提供を行いました。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価	
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	B	
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	B	
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	A	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	B	
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	A	B	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	B	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	B	
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	A	B	
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B	
② サービスの 質の 評価	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	B	
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	B	
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	A	B	
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	B	
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	B	
		緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B	
		避難経路が適切に確保されている。	A	B	
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	A	B	
	③ 安定性	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
			事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	B	
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	A	B	
事業運営		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	B	
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	A	
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A	
維持管理		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	B	
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	A	B	
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	B	
環境配慮		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B	
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	A	B	
広報活動		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
苦情等対応	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B		
苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	B		
苦情等対応	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	A	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B		
利用状況	利用実績は、目標水準である。	A	B		
総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B		
安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	B	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B	
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B	
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B	
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)				
	・日光産農産物の幅広い周知の為、PR活動に力を入れて情報発信し県内外の人とたくさん触れ合うことができた一年でした。コロナ禍の為中々積極的に県外へのイベントなどには参加できませんでしたが、落ち着いたところで県内外へ外向きパンフレット配布を通してたくさんの方に日光の魅力を伝える活動ができました。生産者の思いが詰まった野菜の有効利用や農産物の生産量拡大などに繋がる取り組みも行い、地域の人を始め県内外の人たちと地元生産者を繋げる架け橋的な役割をしっかりと努める事ができたと思います。				
	(所管課評価)				
	利用者数について、目標達成に至っていないものの、新型コロナウイルス感染症の影響下においても利用者数は伸び続けており、一定の評価ができる。				
	SNSによる情報発信、廃棄野菜の施設への無償提供等独自の事業を行っており、市内産農林水産物のPR、SDG's等の観点から評価できる。				
	観光業及び商工業の連携強化による情報発信を推進し、日光ブランドの開発を目指した拠点となるという高い目標の達成のためには、立地の良さを生かした更なる集客力及び収益性の向上、多産業の連携の取組が必要と考える。				
前年度総合評価		B(良好)	総合評価 ※3段階評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。